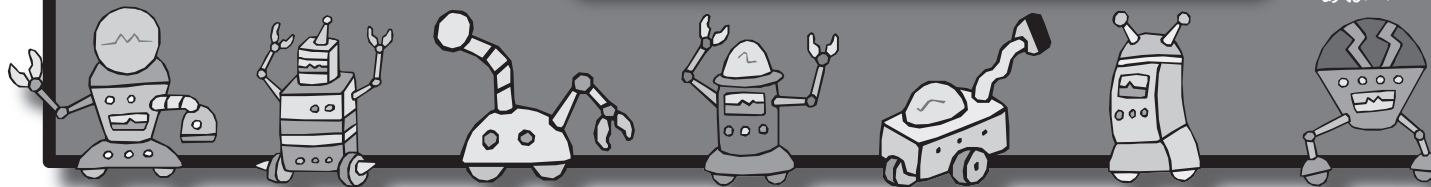


パパにおまかせ! 週末のBioブロック

クワガタロボットを作る!

第1回

あおパパ



こんにちは。あおパパです。

あお君という男の子のパパをしています。平日は仕事と一緒に遊べませんが、週末はあお君が好きなレゴブロックで、あお君がリクエストしたものを作って遊んでいます。

次は動くおもちゃ（ロボット?）を作って、あお君と一緒に遊びたいな、と思って、何を血迷ったか Bioloaid を買っちゃいました。というのも、あお君はまだ5才なんで適正年齢(12才)を大幅にオーバー。でも、それはそれ。パパの趣味につき合ってもらいます。もちろん安全確保はパパの責任でね。

ということで、Bioloaid をレゴブロックのごとく遊ぶ「週末のBio ブロック」の連載のスタートです。

1 | Bioloaid ってなあに?

本誌を読んでいる人で Bioloaid を知らない人は少ないと思えるし、使い方はマニュアルを見ればいいんで、あえて説明の必要はない

でしょう。でも Bioloaid について、あおパパが気づいた点をちょっとだけ紹介します。

気がついていました? 販売元の(株)ベストテクノロジー (以後、ベストクさん)の Bioloaid 公式ドキュメントには、ヒューマノイド型とか、犬型とか、恐竜型とかができる(写真1)という記載はあるけれども、二足歩行できるとは記載されていないんですよ。あおパパが思うに、二足歩行という狭い枠にとらわれずに、誰でも気軽にロボット創造できる初心者キットなんでは? (でも真相は誰も知らない...)

そうはいっても、Bioloaid のユーザーはヒューマノイド型で二足歩行したい人が多いようです。Web を見ても、みなさんヒューマノイド型ばかりで、おまけに二足歩行もしていたり。そういう状況を察してか、ベストクさんでも POM ワッシャー (写真2) という片持ち支持部分のガタを抑制する部品を提供してくれてるようです。有り難いですね。

2 | Bioloaid を見てみよう

さてと。Bioloaid の世間話はこのくらいにして my Bioloaid のお話を。

やっと我が家にも Bioloaid (写真3) が届きました。さっそく蓋を開けて中身の確認といきます。もちろん初ロットの不具合確認です。こういうのもやっぱり初ロット不良ってあるんですね。

まずは未使用ネジのサビ。ハイ、問題なし! 日本語ドキュメントも入っています。それにしても未使用ネジのサビか〜。う〜ん、長いこと港の倉庫で剥き出し保管されていたのかなあ?

それにしても、ネジの本数と種類がスゴイ数ですね。一番使う M2X6 が、400 本!! 本当に 400 本あるの? と思うけど、あおパパには数える気がありません。たぶん組み立てに必要な量はあるでしょう。一般公差的に言えば、機能に支障がなければ受け入れなきゃいけないんだよね。この場合は組み立てに支障がなければ問題ないもんね。

けれども気になるのは、ケーブルの本数かな(写真4)。ちょっと少ない? 最終的にどんな距離で組み立てが終わるかわからないので、長いのがもっとあっていいような気がします。

つなぎ部品の種類と数は、まずまずかな。でも、これらの部品形状であお君の要望を満たすモノを作るのは、力量が必要な感じ。少なくともレゴブロックよりデジタイズサイズが大きい分、表現力は少ないですね。



(株)ベストテクノロジーの Web サイトより引用

写真1 Bioloaid の製作例



(株)ベストテクノロジーの Web サイトより引用

写真2 POM ワッシャー

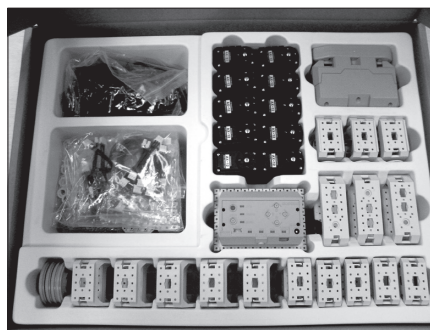
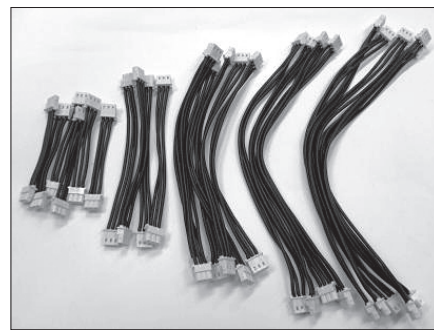


写真3 届いた Bioloaid



(株)ベストテクノロジーの Web サイトより引用

写真4 Bioloaid のケーブル